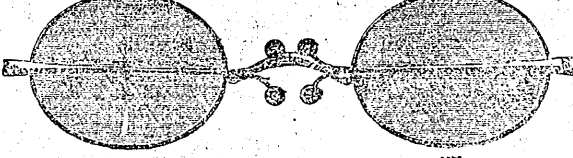


賀正
平町砂糖商
同業組合員一同

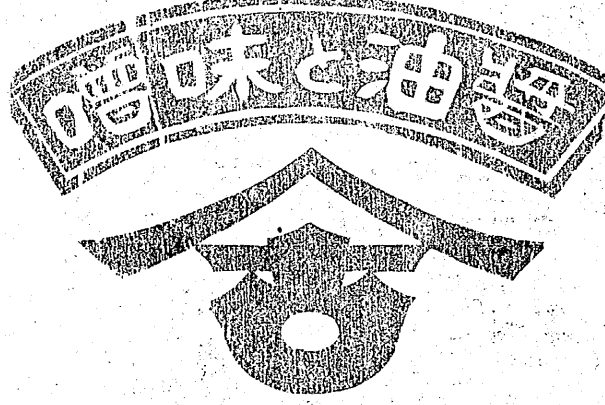
京都産出瓦斯販賣 有聲座隣
コルクス特約販賣



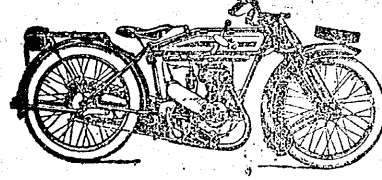
逸獨 高級眼鏡
(メニスカス) 逸獨眼鏡
「メニス」を何んぞで皆さんがお好みになるのです」
答「掛け心地が良くて眼や脳へは絶對弊害がなく晴々するからです」
平町一丁目 常盤屋時計店
電話三三九番
警店眼鏡部は各國品多數取扱へ電力應用で速時調整します

看護婦派遣の求めに應ず
平町南町 看護婦會
電話三〇七番

夜
淋病 婦人病 包專 門 院病村松
部科外
療



福島縣平町
鹽屋山崎本店
電話 營業部専用一〇番 一般用二七番
上野上車坂町四三
東京支店
電話長淺草五七二八番 振替東京六八三二二番



短くなつた日を長くして
「太陽は餘細工ぢやないから長く延すことは出来ません。唯オートバイ愛乗者は、それ天高く馬肥える候なれば、活動に油の乗る事も一入で短くなつた日も長々と使へるといふのです」
(御買入の御方には無料で教授いたします)
東北代理店
イーグレット
イーグレット
イーグレット
イーグレット
平町字南町 電話五三二

親切第一 營業課目
裝飾器具 電線・電線・ベルト類
芝浦(モートル)特約店
日立(トランス)特約店
電話機及各種乾電池
通信用器具
電機並諸機械修繕
致マヌ
福島縣平町 電話二一
平町字南町 電話五三二

吉田眼科醫院
平町屋紺

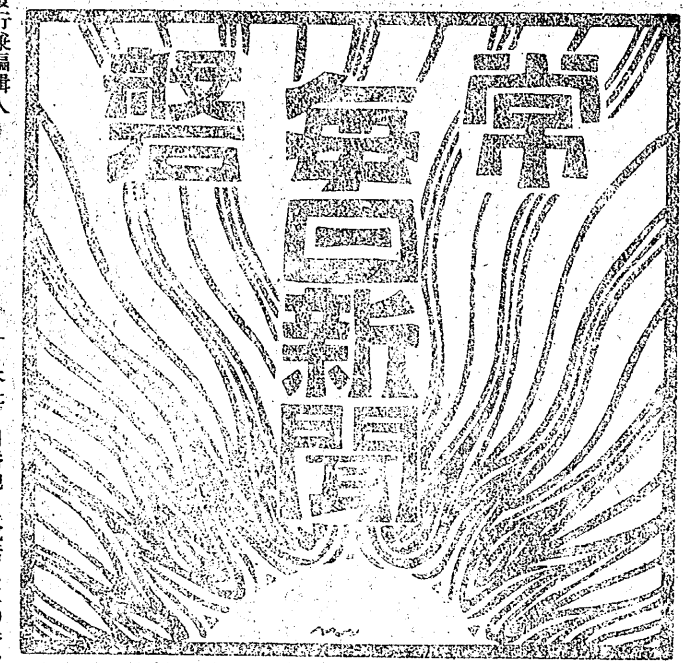
内科 小兒科 花柳病科 (需應院入)
藤沼醫院
平町紺屋町
電話 電話五〇七番

手拭、消防被服 專染所
印半天、風呂敷
小店員募集
平町五丁目 吉田屋染工場
電話五五八番

新年宴
大、小、に不拘特に勉強致しますから相變らず御用命を御願申上ます
平 驛 前
電話二二二番
丸新館

美術寫真引伸專門
齊藤寫真館
平町三丁目 電話三五九番呼出し

今年の寒さは 百年來の寒さ
ますます寒くなり
防寒具の御用意は?
オーバ 六、八〇ヨリ
トンビ 一、〇〇ヨリ
モチリ 五、〇〇ヨリ
なかや洋服店
平町(電二〇三)



發行兼編輯人 川崎文治
本社下町番地(電話三〇番)
印刷所 常盤毎日印刷所

定部金貳錢 廣一五號十二
料(字)〇一 行(刊)日曜大祭
日(祝)日ノ翌 發行所 福島縣石城郡平町長橋町三五
電話六三〇番

刊夕日六月一

常盤毎日新聞
年頭言
社長 川崎文治
本紙は正に第三回目の新春を迎え紙齡四歳を數ふるに至つた、是れが若し人の子であつたとするならば稚氣満々たる可愛さの眞盛りであらねばならぬ、
本紙も御多聞に洩れず例へば夫れが片言交りであらうとも、歩む足どり甚だ覺束なしであらうとも天真爛滿たる純眞無垢の本然性を發揮して大いに本年は爲す所あらねばならぬ、

然も年頭早々東京の各新聞紙は正に好景氣の再來すべき光明をかすかながらにも認め得べき諸般の材料を齊に傳へ、各經濟學者の豫斷又比しく本年が經濟界好轉の機會に逢着すべき樂觀説を力説して居る、
果して現政府の一も節約二も節減たる消極政策が財界に好刺戟を與へ得べきや否やは大なる疑問を存すとも對外貿易の好轉また外國爲替相場の回復等の現象を見且つ東株が鰻登りの状態をたどつて居る事實等に照らし合せ財界好轉の微候

を暗示するものである事を信じていたのである、
茲に於てか本紙も此吉相よき年頭に當つて幾多の準備と用意とを以つて諸彦の期待に添はねばならぬ點が多々ある事を確信する故に今後の本紙は正に財界好轉の機に遭遇すべき地方經濟界の機微を極めて正確敏速に報導し少くとも其水先き案内の責務を全ふすべき方針を把持して諸彦の前に刊目の値ある幾多の材料を提示せんと欲するものである



本年の地方財界は 必らず向上を示す

銀行の帳面も變つた現象

警城銀行支配人 草野順平氏談

大正十五年は確かに經濟界好轉を豫想出来ないものではない、而し先日の株式界に現れた程左様に狂狂はせ

好景氣

が直ちに吾人の身邊に迫りつゝあるものとは考へられない、是れは濱口藏相等の樂觀的な經濟論や金利の引下げ等が因を爲して斯かる結果を見たのであらうが此現象に依つて直ちに財界の根底がシツカリして来たものと信ずる事は早計に失する嫌へがある、然らざればと云つて

悲觀す

るのも當を得た事ではない、と云ふのは米國の市場が非常に良いからである、我國の經濟界に最も直接な關係を來すのは米國であつて従來の如く一ヶ月も二ヶ月も遅れてから始めて我國への影響を見ることは云つたが如き緩慢なものではなく今では

直ちに

その影響が我國の市場を支配する事になる、故に米國市場の好況は我國として樂觀材料の一つに數ふべき吉報である、云はねばならぬ次に當地方は養蠶は良かったのであるが米價は下落した石炭の賣れ行きも良くない結果

不況の

ドン底に落

各種の方面から

平町を覗く(その一)

レコードは何が賣れる

▽……生活必需品以外は不景氣の聲と共に大きな打撃を蒙つて其賣れ行きが一時に減退した、就中蓄音機のレコードの如きは賣れ行き悲境の筆頭であらう、しかし生活苦が増せば増す程人々の慰樂を要求する切實な心はいやが上にも燃わさる、其處にレコードの存在意義が始めて確立する譯で失張り打撃を蒙つたと云ふ事實は争はれなくとも多少に拘はらず賣れて居るから結構其道の商賣人はニブイながらも算盤の珠がはぢける次第なのである

▽……然らばどんなレコードが賣れるか？是は平人士の趣味生活の一端を伺へ知る一つの材料として茲に録する、穴勝ち無駄

氣でもあつたのみならず經濟界の循環説より見るも本年は好況への向上をシロく示すであらうと考へて居る

稻增收褒賞授與式

平町外七ヶ町村聯合で 來る十二日舉行

平町外夏井、神谷、草野、湯本、飯野、平窪、好間各町村聯合稻增收品評會は來る十二日午後一時より平町役場に於て褒賞授與式を舉行する由であるが出品總點數は百卅一點に達し各町村別にすると

- 平町一三、神谷二〇、草野二〇、夏井一三、飯野二〇、平窪一八、好間一五、湯本一二

であるが受賞者は一等以下四等迄五十五名を算し其氏名左記の如くである

- (一等)夏井鈴木英雄、飯野村田丑藏、(二等)湯本永山善彌、神谷木村竹松、草野高木誠一、(三等)湯本坂本左内、神谷西郡憲五郎、湯本高原運平、神谷木村要次郎、湯本小久富司、同春山増吉、同江尻松吉、平窪岡場益一、湯本小久駒吉、夏井鈴木定義、好間廣川信榮、平町荒



わ正月の料理

△数の子辛子和へ 数の子を水浸しにして軟かになつた時、一口程宛にちぎり薄皮をはいで鹽をふつても

招魂碑除幕

石城郡三坂村消防組にては同村大字中三坂古峯神社境内に招魂碑を建設竣工した爲め近く除幕式を舉行すると

借家人の

川恒太郎、(四等)神谷吉田謙吉以外卅七名

情愛こもる

白銀の催し 既報平町白銀町加藤丈夫氏借家人七十余名は二日午後二時より同氏及び同氏の岳父を水戸屋旅館に招待し新年懇親會を催したが先づ諸根郷土社主人開辭を述べ宴に移り多士濟々たる顔ぶれ

平窪農事總會

石城郡平窪村農事實行組合長總會は四日同村小學校にて開き左記事項を協議したと

み水洗ひをすませて布巾にとり、水氣を絞つてしまひます、辛子のアク抜きしたものに醬油砂糖味の素をすりませで数の子を入れて和へさへすれば出来、砂糖は好みによつて入れな

可愛のお客

百五十余名が目白押し例年の吉例に依り去る三日午後一時から川崎本社長宅にて子供新年會を催したがニコニコ顔の可愛なお客様は百五十余名の多數に達しお伽嘶や、手品遊戯夫れにお琴や、三味線、即席芝居等非常な賑ひで終日可憐な笑ひ聲が絶えなかつた

平町物價

品名	單位	價格
白米	一升	四二〇
白米	二升	四一〇
白米	三升	四〇〇
白米	四升	三九〇
白米	五升	三八〇
白米	六升	三七〇
白米	七升	三六〇
白米	八升	三五〇
白米	九升	三四〇
白米	十升	三三〇
白米	十一升	三二〇
白米	十二升	三一〇
白米	十三升	三〇〇
白米	十四升	二九〇
白米	十五升	二八〇
白米	十六升	二七〇
白米	十七升	二六〇
白米	十八升	二五〇
白米	十九升	二四〇
白米	二十升	二三〇
白米	二十一升	二二〇
白米	二十二升	二一〇
白米	二十三升	二〇〇
白米	二十四升	一九〇
白米	二十五升	一八〇
白米	二十六升	一七〇
白米	二十七升	一六〇
白米	二十八升	一五〇
白米	二十九升	一四〇
白米	三十升	一三〇
白米	三十一升	一二〇
白米	三十二升	一一〇
白米	三十三升	一〇〇
白米	三十四升	九〇
白米	三十五升	八〇
白米	三十六升	七〇
白米	三十七升	六〇
白米	三十八升	五〇
白米	三十九升	四〇
白米	四十升	三〇
白米	四十一升	二〇
白米	四十二升	一〇
白米	四十三升	〇
白米	四十四升	〇
白米	四十五升	〇
白米	四十六升	〇
白米	四十七升	〇
白米	四十八升	〇
白米	四十九升	〇
白米	五十升	〇

油ゴマを洗ひ、形をなほして金あみにかけて焼き、鍋に入れてかぶさる位の湯を注ぎ込み軟かになるまで煮ますみりんを加へ汁の半分位になつた時醬油を入れ汁のなくなつてしまふまで煮て皿に移し急いであふぎ冷します

正月早々 道路の修理

小川火防よて

石城郡赤井村高萩小川郷驛前私設火防組に於ては去る四日全員出動驛前より福島炭礦に至る道路の破損した土橋を修理し交通の便を圖つた由

静觀氏展覽會

橋本雅邦氏門人畫家網島靜觀氏の個人展覽會は五日から七日迄平商業學校にて開催中であるが同氏は大正博文展等に數回入選した斯界の明星にて逸品多數陳列しある

耳の兎

飛行機で年始廻り 横濱アドミラル汽船會社支配人トムソン氏は四日午前十時五十分横濱港から飛行機(後藤飛行士操縦)で大阪に年始廻りに其かけた飛行機の年始廻りは日本ではこれが最初で同氏に先鞭をうたれたわけである

平町人事

- ▲出生
 - △古銀治町三〇 志賀金藏氏長女
 - △胡原澤一〇 武田傳吉氏二女
- ▲死亡
 - △長橋町二一 松本哲夫(三三)